



平成28年4月18日

各位

上場会社名 ピー・シー・イー株式会社  
 代表者 代表取締役社長 水谷 学  
 (コード番号 9629)  
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 佐藤 文昭  
 (TEL 03-5211-2711)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、27年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,880	242	272	131	19.12
今回修正予想(B)	8,440	36	62	△109	△15.95
増減額(B-A)	△439	△206	△209	△240	
増減率(%)	△5.0	△84.9	△76.9	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	8,168	△179	△157	△207	△30.22

平成28年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,000	168	82	12.00
今回修正予想(B)	7,760	37	△92	△13.47
増減額(B-A)	△239	△131	△174	
増減率(%)	△3.0	△77.9	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	7,487	△139	△153	△22.33

#### 修正の理由

平成28年3月期は、第4四半期たる平成28年に入り、急激な円高、原油安等による経済環境の急速な悪化が、8%消費税導入で落ち込んだ個人消費の回復をさらに弱め、日銀によるマイナス金利導入に至り、予断を許さない経済状況となりました。

一方で、現在、法的には平成29年4月に予定されている消費税率の引き上げ及び軽減税率の導入への対応を盤石化するため、開発検証部門、コールセンター部門の事前教育を含めた人員増に伴い、当社グループの営業費用が増加しております。

かかる状況下で、先のマイナス金利導入の影響による退職給付債務の見積もり上の割引率変動等により発生した数理計算上の差異を即時認識したことによる売上原価、販売費及び一般管理費への追加費用の計上が約115百万円発生したことにより、営業利益、経常利益ともに大幅に減少する見込みとなりました。

当期純利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については、平成28年度税制改正に伴う法定実効税率の変更による繰延税金資産の取り崩し等による影響額が約81百万円になると試算されたこと、更に、子会社マックスシステムにおける新規製品開発遅延により同社の単体業績が当期純損失の見込みとなったことにより、当期純利益等が大幅に減少する見込みとなりました。

その結果、前期に引き続き、2期連続の最終赤字決算数値が予想されることとなり、当該業績修正を発表する運びとなりました。

中長期的競争力を高めるための、数年来の人件費の継続的増加が下地にあるものの、ステークホルダー各位にご心配をおかけすることとなり、ここに深くお詫びいたします。

今後、経費執行の厳格化を図りながら、一方で製品力強化を進めていくとともに、カスタマ・ファーストの理念に基づく堅実な経営に邁進する所存でございます。

なお、配当につきましては、期初計画どおり1株あたり年間31円00銭を予定しております。

以上